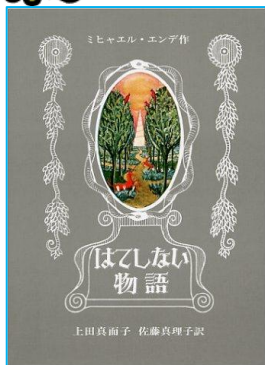
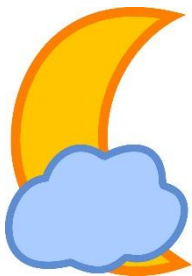


YA 通信

No66 2015年11月号
春日井市図書館発行

YA(ヤングアダルト)世代
=10代のみなさんのための
読書情報誌です。
ご紹介する本は特に記載が
ない限り、図書館3階YA
コーナー所蔵です。



YAコーナーに新しく入った本からピックアップ。



『発信力の育てかた』 そとおか ひでとし 外岡 秀俊/著

河出書房新社 00/ハ/15

近頃私達は、twitter や facebook など、自ら情報発信をする機会が多くなりました。自分の近況を発信するだけでなく、話題のニュースやクチコミ、何かの集団に入っていれば、その集団の活動や情報を発信することもあるかと思えます。しかし、その情報発信の仕方間違っていないか？ この本では、情報発信のいろはが載っています。学校の調べ学習や発表の場や、大人になってからでも使えるものばかりです。ぜひ参考にしてください!!

名作たからばこ

『はてしない物語』 ミハエル・エンデ/作 うえだ まりこ 上田 真而子/訳
さとう まりこ 佐藤 真理子/訳 岩波書店 94/ハ/Z

3階児童

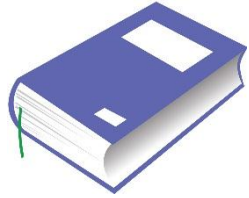
〔文庫版〕

『はてしない物語 上下』 ミハエル・エンデ/作
うえだ まりこ さとう まりこ 上田 真而子、佐藤 真理子/訳 岩波書店
94/イ7/00-1~2 3階児童文庫

いじめられっこの少年が繰り広げる長編ファンタジーで、ネバーエンディング・ストーリーとして映画化もされました。ハードカバー版では、物語りの中で主人公が入手した本と同じようなデザインになっていて、二色刷りによって現実と本の中の世界が書き分けられていて、感情移入しやすく主人公になった気持ちで物語りに引き込まれていきます。おすすめはハードカバー版ですが、文庫版(単色刷り)は手軽にどこへでも物語と一緒に掛ける事ができます。それぞれの良さが有るので好きな方をどうぞ。

哲学

哲学とは真理を探究する学問です。では真理とはなんなのでしょう。いろいろな人がいろいろな真理を提唱していて、いまだにこれが正しいというものがないですから説明するのは難しいのです。ただこれは、皆さんが「これが真理だ」と言えばそうなるということでもあります。今回紹介する本を読んで、あなたの真理を見つけませんか？

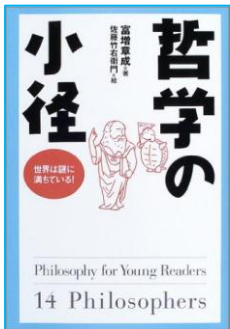


『14歳の君へ』 池田 晶子/著 毎日新聞社 10/シ/06

IT化が進みどんどん便利になっている一方、心の豊かさがおざなりになってしまっているそんな時代を生き抜く為には羅針盤のような道しるべが有ると心強いのではないのでしょうか。人生は選択の連続です。迷っても決断していくのは自分しかいません。時には後悔する事があるかもしれませんが、自分で決めた事であれば後悔は少ないはずです。若いうちに考え方を確立させて自分なりの道しるべを持つのは強みになると思います。

『特別授業 “死”について話そう』 伊沢 正名/〔ほか〕著 河出書房新社 11/ト/13

質問です!!「幸せって何？」さて、あなたはこの問いに答えられたでしょうか。ソクラテスやカントのような、物事の根本的な原理を説明する学問の他に、日々の生活で出てくる疑問について考えることも、“哲学”といいます。今回は、後者の“哲学”を体感してもらうため「特別授業“死”について話そう」という本を紹介します。生きていれば必ず死は訪れるもの。それは自分も他人も他の動物も同じです。しかし、私たちは普段そのことについて考えません。この機会に『死』とは何か考え、自分なりの哲学に触れてみてください!!



『哲学の小径』 富増 章成/著 佐藤 竹右衛門/絵 講談社 130/テ/03

そもそも哲学とはなんなのか。授業では昔の人がいろいろ難しいことを考えていたってことは理解できるんだけど、じゃあ皆が何について考えているかといわれるとよくわからないよね？皆同じ事を考えていたのか、それとも違うことを考えていたのか、はたまた違うように見えて同じなのか、あるいはその逆か。今回紹介した本には、そんな歴史上の哲学者たちが何をどのように考えていたのかを面白く、また易しく書いてあります。これを読めば哲学とはなんなのかという本質に触れることができるかもしれませんよ。

『14歳からの哲学』 池田 晶子/著 トランスビュー 10/シ/03

「生きていることをすばらしいと思っていますか。それともつまらないと思っていますか。」著者である池田晶子さんはこう尋ねてきます。

「すばらしいと思っている人にとっては、生きていることはすばらしい。」

何故かわかりますか？

「自分とは誰か」「死をどう考えるか」、「理想と現実」に「宇宙と科学」など、どれだけ考えても簡単には答えの出ないことが世の中にはあふれています。それでも私たちは考えることをやめてはいけません。

常に問い「考える」ことを休ませてくれない本です。





国語

『夏目漱石、読んじゃえば?』

おくいづみ ひかる 著 香白 くら / 漫画・イラスト

河出書房新社 91/カ7/15



日本の文豪として有名な夏目漱石。この本は様々な漱石の作品を取り上げて、こんな本はこんな風に読んでみるといいんじゃない?なんてことを教えてくれます。「全部読む必要はない」「難しい漢字も調べない」なんて、国語の先生が聞いたら怒っちゃうかもしれませんね。でも面白く読むために、そんな読み方もチャレンジしてみればいかがですか。

ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会さん)

『天と地の方程式 1』 富安 陽子/著 五十嵐 大介/画 講談社 913/コウ/15-1



古事記をベースにしたファンタジーの始まりです。

田代有礼はもう 6 日も猿と見つめあう夢をみていた。猿は毎夜近づいてきて何かを伝えようとしていた。「くるすの丘に來い」といわれた次の朝、田代有礼は中高一貫校「来栖の丘学園」に転校することになった。中学三年生の春である。

黄泉つ神が目ざめたことで天つ神の巫として集められた神通を持つ 7 人は自分の意思とは無関係に黄泉つ神のいる「カクレド」へ送りこまれた。黄泉つ神を地の底の冥き場所に封じ込めなければならない。

この秋、古事記の神の依代と一緒に黄泉つ神との戦いに目をむけてみてはいかがですか。



はたらくBOOK

毎号一つの職業に関する本をとりあげます。



研究者:何かしらの学問の研究を生業とする人のこと



『研究室』に行ってみた。』 川端 裕人/著 筑摩書房 40/ケ/14

この本には 6 人の研究者達の研究についてや、その研究を始めたきっかけなどが書いてあります。研究の内容は「スゴイ!」といったものから「なぜそれを?」といったものまで様々ですが、どの研究にも情熱や好きだという思いがひしひしと感じられます。研究者として働きたい人、もしくは悩んでいる人、そもそもやりたいことが見つからない、という人などもオススメです。

\\他にもこんな本があります/

『娘に「リケジョになりたい!」と言われてたら』 秋田 直美/著 ダイヤモンド・ビックス 407/ム/14

4 階一般



YA担当イチオシ!

『幕が上がる』

ひらた
平田 オリザ/著 講談社 F/ヒラ/12

4階一般

どんな本?

2015年2月にももクロ主演で上映された映画の原作小説です。
舞台は地方の高校演劇部。最初はそこそこ演劇をやっていた女の子が、出会いを通して演劇に夢中になっていく様子がリアルに伝わってきます。

ここがオススメ!

ストーリーは青春小説の王道だけれど、それだけじゃない。女の子たち一人ひとりが現実の中でもがきながら成長していく姿に、中高生の人たちは元気づけられ、今は大人となった人たちも懐かしい気持ちになるんじゃないでしょうか。

文体は一人称で、主人公の女の子の視点で語られているのでとてもライト。でも、内容は奥深くオススメしたい青春小説です。

YA(ヤングアダルト)コーナーって?

図書館3階雑誌コーナーのとなりです。たとえば、こんな本があります。



- ◎10代向けの小説・読み物
- ◎勉強・進路・職業に関する本
- ◎いろんな悩みの解決に役立つ本
(学校生活・友だち・恋愛・家族・心と体 など)
- ◎自分の世界を広げるための本(趣味やスポーツ)

「〇〇について調べたい!」
「△△の本はどこ?」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。

春日井市図書館

春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp>

ケータイサイトはQRコードから→

